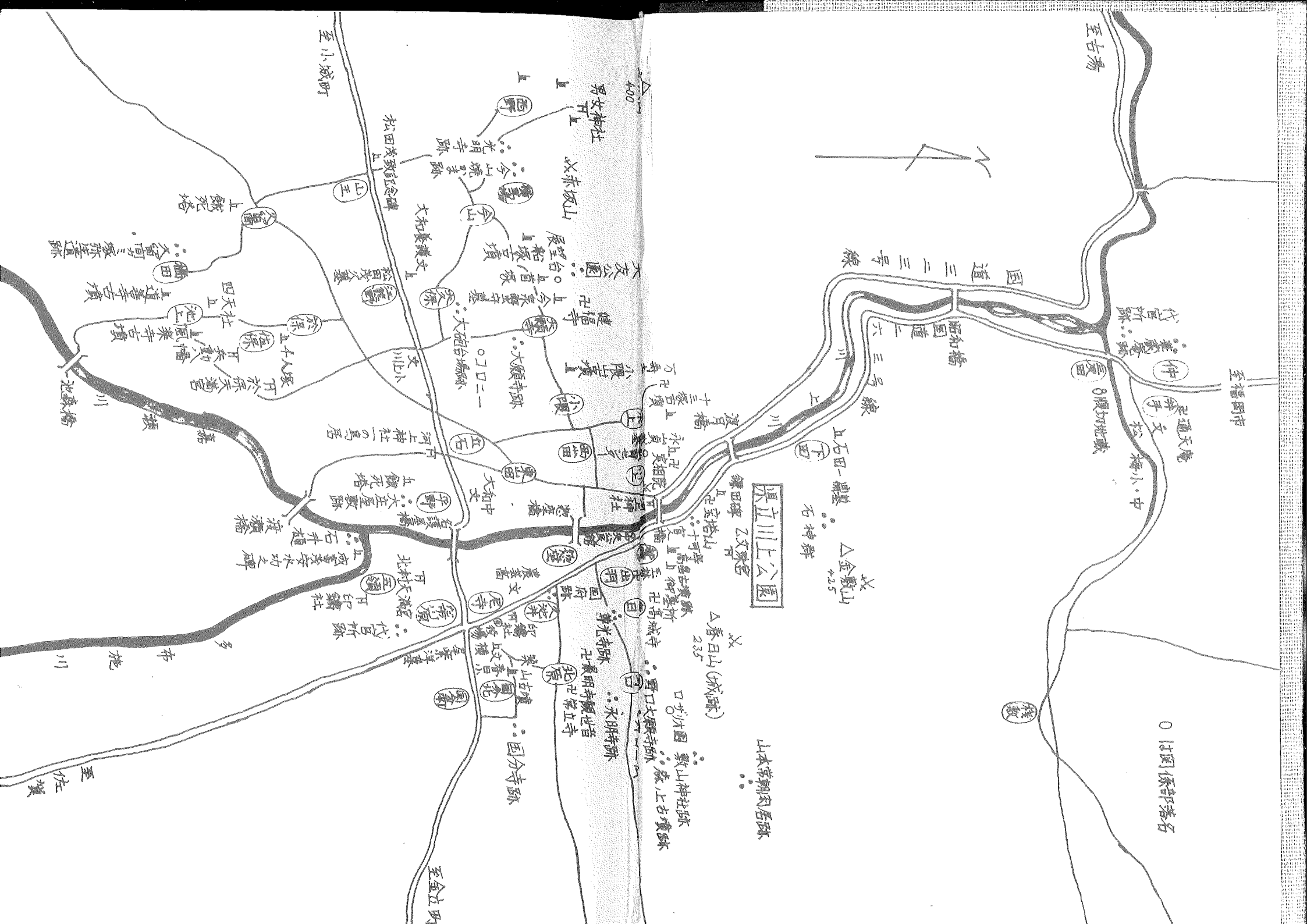


大和町史

13市誌記  
1  
情報公開



至古湯

至福岡市

○は関係部著名



国道二三号線

昭和橋

三三三川

石神群

△金敷山  
425

多摩川上公園

山本常朝の居跡

△春日山(城跡)  
235

叡山神社跡  
森上古墳跡

永明寺跡

光明寺跡  
最明寺觀世音  
聖立寺

国分寺跡

至金立町

至小城町

400

男女神社

赤坂山

大友公園  
展望台  
皇道塚  
展望船塚古墳

健康寺  
上今泉誓守墓

大願寺跡  
大砲台城跡

大和義護文士  
松田茂墓

山五

上鐵死塔

上道善寺古墳

四天社

上道善寺古墳

上道善寺古墳

上道善寺古墳

上道善寺古墳

至福天庵  
梅小・中  
代官折跡  
美濃巻跡

八腰切地蔵

後敷

上石田一鼎墓

鑛田碑  
定宝塔山  
寺高  
御所高  
城寺

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

永真墓  
永真墓  
永真墓

河上神社の鳥居

石

大和文

大和文

大和文

大和文

大和文

大和文

大和文

松田茂致記念碑

上鐵死塔

上鐵死塔

上鐵死塔

上鐵死塔

上鐵死塔

上鐵死塔

上鐵死塔

上鐵死塔

大和義護文士

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

大和義護文士

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

大和義護文士

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

大和義護文士

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

大和義護文士

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

大和義護文士

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

大和義護文士

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

大和義護文士

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

大和義護文士

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

松田茂墓

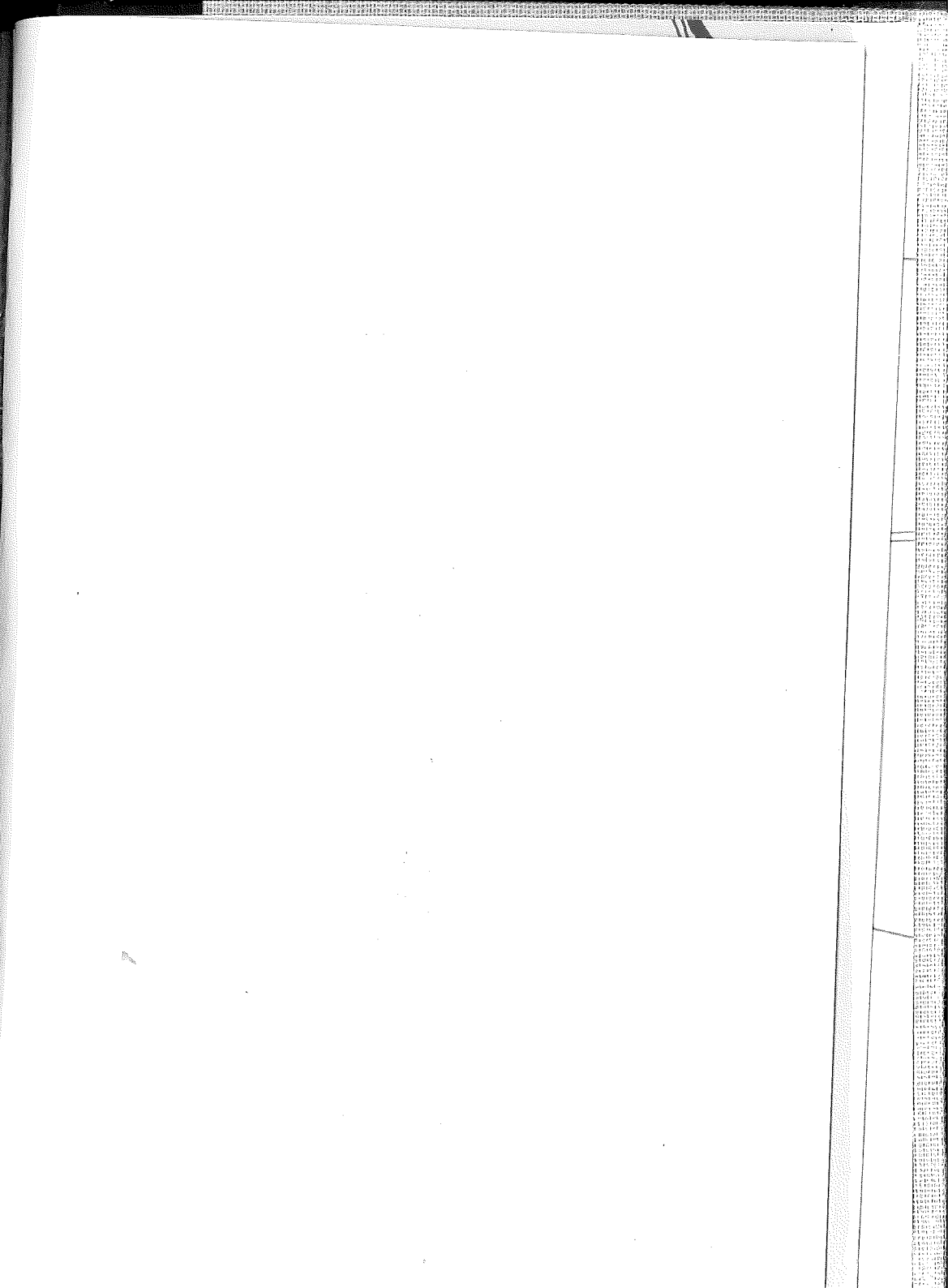
松田茂墓

松田茂墓

大和町史



三门峡一带

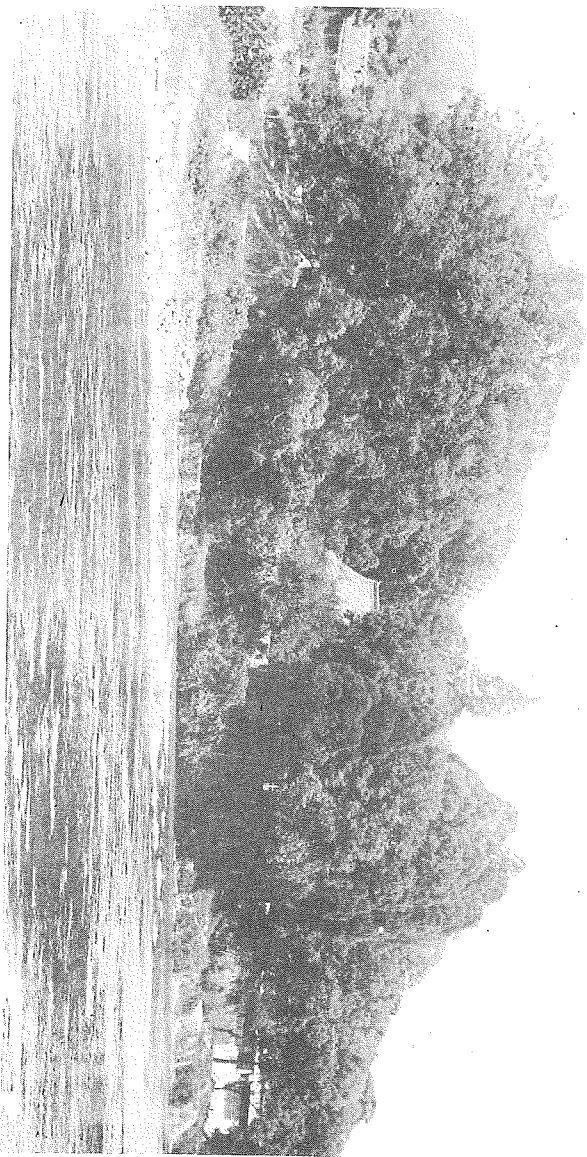




実相院のお経送り

淀姫社の図

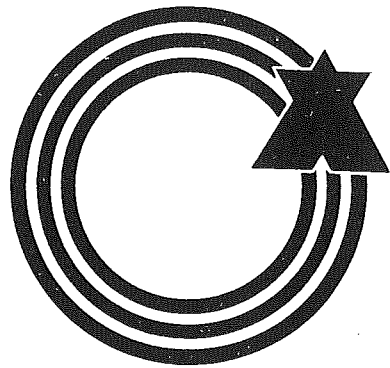
約 280 年前の元禄のころ  
鍋島家の抱え絵師である  
小原友閑齋が描いた絵図  
である。(鍋島家蔵)



昭和初期の淀姫社遠景

# 大和町章

(昭和40年4月21日制定)



この町章の表現する意味は、二つの三角形の組み合わせによって大和の「大」の字を表わし、上辺の中央並びに両端の鋭角の部分は、下辺の安定した基礎に立って、たくましく発展しようとする姿を示し、これに結ばれた三つの輪は大和の「和」を表わすと共に、川上川を表現し、大和町の永遠を象徴するものである。



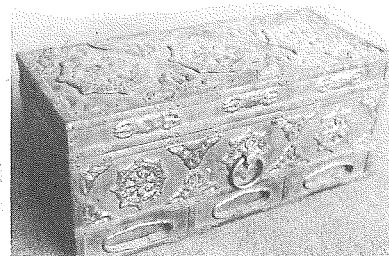
円鑑禅師の座像(国)



健福寺の銅鐘(国)



説僧箱



法具箱



水上の懸仏

# 大和町町歌

池田英之作詞  
神代正之作曲

明るく J=90

1. とお い れ き し の お も か い げ を  
 2. ナ ー ツ ハ ミ カ シ ノ シ ロ カ イ げ ハ ナ セ  
 3. た ん ぽ で こ う ば で な が わ カ ノ ミ ナ の  
 う か ベ て ゆ た か な か い わ カ ノ ミ ナ の  
 ア ー キ ハ コ タ ガ ネ ノ カ ネ が ノ ナ い ネ て  
 み ん な の ひ た い に か が や い て

き ー よ き な が れ の あ る と こ ろ  
 へ ー ワ ナ ユ チ が メ ヲ の ム ト コ ロ  
 き ば う と ー か ら の わ く と こ

ひ び に ー さ か え る わ か い ま ち  
 オ ー キ ク ア ス へ ー ノ ビ ル マ チ  
 は ー か な り そ ー い だ く ま

み ん な で き ず こ う や ま と ま ち  
 ミ ン ナ デ キ ズ こ う ヤ マ ト マ チ

一、遠い歴史のおもかげを  
 浮かべて豊かな川上の  
 清き流れのあるところ  
 日々に栄える若い町  
 みんなで築こう大和町

二、夏はみ柑の白い花  
 秋は黄金の稲の波  
 平和な夢を生むところ  
 大きく明日へ伸びる町  
 みんなで築こう大和町

三、たんぼで工場ですす汗  
 みんなの額に輝やいて  
 希望と力のわくところ  
 はるかな理想抱く町  
 みんなで築こう大和町

## 序

大昔、わたしたちの祖先は美しい自然と肥沃な耕地を求めてこの地に定住し、多くの文化を創造して生活を豊かにし、その遺産を有形無形の姿で今日に残してくれています。

船塚古墳、肥前国府、国分寺を初め、数々の遺跡や史跡は往時の繁栄を物語り、郷土大和をして県下屈指の文化の豊庫としてその名を高からしめています。

この自然と歴史に恵まれた風土は、気候温順、人情もこまやかで、豊かな環境にふさわしく、農業を初めとして各種の産業が交通の至便さとあいまって発達しています。

大和町誕生二十周年を迎えるに当たり、祖先・先輩が管々として郷土の建設に取り組んだ事績を明らかにし、新しい出発の足がかりとするため、当町教育委員会で町史編さんの事業に取り組みここに五十年、編さん委員各位の熱意とおう盛なる研究心によって、見事発刊の運びとなったことは誠に意義あることと喜びにたえません。調査研究によって確たる資料をもとにご執筆くださった方々を初め、ご指導を賜った諸先生並びに貴重な資料を提供し、陰に陽にご協力くださった各方面の方々に深甚なる謝意を表する次第であります。

本書が町民みなさんの座右の書として、又古代から現代までの自然と年々歳々移り行く世の様を網羅

した郷土史として、老若男女を問わず愛読され、青年期に入ったわが大和町の今後の飛躍に心のともし  
びとして、又広く江湖の資料として活用されるよう期待いたします。

昭和五十年十月

大和町長

土井四郎

## 凡 例

- 一、本書は町民の方はもとよりできるだけ多くの方々に親しんで読まれ、歴史に富む大和町、将来の発展を期待される大和町を理解していただくために、極めて平易に敘述することに努めた。
- 一、全巻を大和町の概要、歴史、文化財、民俗、神社・寺院に区分し、歴史篇においては更に原始、古代、中世、近世、近代、現代に分け、通史は概説に止め、大和町関係のものにしぼって記述した。
- 一、文章はできるだけ現代かなずかいによる平易な口語体とし、漢字も当用漢字を用い、固有名詞や、特殊な文字・語句にはできるだけふりがなをつけたり、訳文をつけた。又できるだけ写真やさし絵等を入れて理解の便を図った。
- 一、歴史的記述法によったので、書中の人名については現存者以外は敬称を省略した。
- 一、数量・年月等を表わす文字は万、千、百、十などの書き方を原則としたが、紀元、小数点のあるものの、表等場合によっては必ずしもこれによらず、又算用数字も使用している。
- 一、資料の出典はできるだけその都度掲げることにした。
- 一、年表は大和町内の事項を主体に記述しているので、国内・県内の事項は単にその背景的事項として記述したのもある。

# 大和町史 目次

題字及び序 大和町長 土井 四郎

## 大和町の概要

- 一 位置と自然……………一
- 二 人口……………二
- 三 町の生い立ち……………三

## 原始時代

- 概 観……………七
- 一 日本列島の誕生……………九
- 二 人類の出現……………五
- 三 先土器時代……………七
- 四 縄文時代……………二〇
- 概 説……………二〇
- 一 縄文式土器……………三
- (1) 大和町と縄文式土器……………三
- 二 大和町と縄文時代の石器……………二
- 三 生活と社会……………二

## 弥生時代

- 概 観……………三
- 一 弥生式土器と大和町……………三
- (1) 弥生式土器……………三
- (2) 大和町における弥生時代の出土品……………三
- 二 水稻耕作……………三
- 三 金属器……………三
- 四 石器と木器……………三
- 五 墓制……………三
- 六 集落と社会……………三
- (1) 山麓から平地へ……………三
- (2) 食料……………三
- (3) 住居……………三
- (4) 衣服……………三
- (5) 縄文のころの人……………三

## 古 代

- 概 観……………五
- 一 大和時代……………五
- 1 大和朝廷と郷土……………五
- 2 古墳時代と郷土……………五
- (1) 大和町の前方後円墳……………五
- (2) 大和町の主な円墳と石棺墓……………五
- (3) 大和町の主な古墳群……………五
- (4) 大和町における古墳文化のまとめ……………五
- 二 飛鳥時代……………七
- 概 説……………七
- 1 大化の改新と郷土……………七
- 2 郷土の国・郡制……………七
- (1) 火の国と肥前の国……………七
- (2) 郡・郷(里)・宿駅……………七

## 肥前国府

- 一 国府の所在地……………六
- 二 国府関係と思われる地名……………六
- 三 神社……………六
- (1) 甘南備山と甘南比神社……………六
- (2) 河上神社(淀姫神社)……………六
- ① 総 説……………六
- ② 河上神社の機構……………六
- ③ 河上神社の財政……………六
- ④ 河上神社祭礼……………六
- ⑤ 勅 額……………六
- ⑥ 一ノ宮争論……………六
- ⑦ 河上神社の祭神と石神……………六
- ⑧ 河上神社の掟……………六
- ⑨ 河上神社古文書……………六
- ⑩ 佐嘉郡山田夷郷川原村……………六
- 三 奈良時代……………六
- 概 説……………六
- 1 農民のくらし……………六
- 2 奈良時代の寺社……………六
- (1) 肥前国分寺と国分尼寺……………六

① 発願	三	② 於保氏と於保天満宮	一七
② 財源	三三	③ 兵動氏と兵動八幡宮	一七〇
③ 場所	三三	(2) 郷土の神社	一七三
④ 国分寺のまとめ	三九	① 水上山万寿寺	一七三
(2) 大願寺と五社神社	三三	② 春日山高城寺	一七九
3 肥前風土記	三五	③ 光明寺(廢寺)	一八六
四 平安時代	三六	二 南北朝時代	一八七
概 説	三六	概 説	一八七
1 郷土の莊園	三九	1 南北朝時代の郷土	一八八
2 郷土の神社	四〇	(1) 太陽山玉林寺	一八九
(1) 実相院	四二	三 室町時代	一九一
(2) 健福寺	四二	概 説	一九五
3 武士の發生	四六	1 越前の戦	一九六
中 世		2 国府の戦	一九七
概 観	一五九	3 龍造寺氏と大和町	一九八
鎌倉時代	一五九	4 淀姫社頭の戦	二〇一
概 説	一五九	5 金敷峠の戦	二〇三
1 鎌倉時代と郷土	一六三	6 川上の戦	二〇七
(1) 郷土の武士	一六四	7 河上社造營	二一〇
① 高木氏	一六四	8 大友軍第一回の佐嘉城攻め	二一一
		9 大友軍第二回の佐嘉城攻め	二二三

(1) 今山の戦	二二三	6 藩政時代の信仰	二四六
(2) 河上神社焼かる	二二九	7 徒弟教育と寺小屋教育	二四七
近 世		8 藩政時代の刑罰	二四九
概 観	二二九	9 時刻と方位	二五〇
一 佐賀藩の成立	二三三	三 農民の生活	二五五
1 龍造寺から鍋島へ	二三三	1 農民と年貢	二五五
2 鍋島家の系図と家紋	二三六	2 年貢米の実態	二六〇
3 佐賀城の建設	二三七	四 享保の飢饉	二六三
4 小城藩の初め	二二九	五 藩政時代の偉人	二六七
二 佐賀藩の政治	二四〇	1 成富兵庫茂安と石井樋	二六七
1 領地の分布と知行高	二四一	(1) 茂安の功績	二六七
2 検地と石高	二四三	(2) 石井樋	二六九
3 村の行政区域	二四四	(3) 尼寺林と洪水敷	二七六
(1) 佐嘉郡上佐嘉上郷	二四四	2 深江信溪と通天寺・永明寺	二七七
(2) 佐嘉郡上佐嘉下郷	二四五	(1) 葉隠とその教え	二八一
(3) 佐嘉郡佐保川島郷	二四五	(2) 湛然和尚と華藏庵	二八四
(4) 佐嘉郡山内郷	二四六	(3) 石田一鼎と下田	二八七
(5) 小城郡山内郷	二四六	(1) 山本常朝と大小隈	二九〇
4 代官所と村の行政	二四六	4 安住勘助と芦刈水道	二九二
5 高札と伝馬	二四四	5 志士 横尾紫洋	二九四
		6 歌人 今泉蟹守	二九六

7	国学者 永山貞武	三二七
8	大木喬任と山屋敷	二九
六	郷土特産物の開拓	三〇一
1	今山焼	三〇一
2	名尾紙と納富由助	三〇三
七	鍋島直正と春日御墓所	三〇五
1	直正の藩政	三〇七
2	直正と古川松根	三〇〇
近代		
概観		三三三
一	明治時代	三三六
概説		三三六
1	版籍奉還	三三七
2	廢藩置県と佐賀県の誕生	三三八
(1)	伊万里県設置	三三八
(2)	再び佐賀県となる	三三九
(3)	三潯県に合併	三三〇
(4)	長崎県に属する	三三〇
(5)	三度佐賀県となる	三三〇
3	地方自治制の成立と大和町	三三二
(1)	旧川上村行政の沿革	三三四

(2)	旧春日村行政の沿革	三三五
(3)	旧松梅村行政の沿革	三三六
4	学制の変遷	三三七
(1)	教育	三三六
(2)	学区	三三六
(3)	学制	三三六
(4)	都渡城小学校	三三九
(5)	実業補習学校	三三六
(6)	中等教育	三三七
5	農業の変遷	三三六
(1)	明治期	三三六
(2)	大正期以降	三三六
6	政治の変遷	三三六
(1)	第一次衆議院議員選挙と 帝国議会の召集	三三六
(2)	第二次衆議院議員選挙と選挙大干渉	三三七
(3)	相次ぐ免職事件	三三九
7	文明開化	三三〇
(1)	太陽暦	三三〇

(2)	頭髮と衣服	三五五
(3)	食事と建物	三五五
(4)	ランプと電燈	三五三
(5)	新聞	三五三
(6)	通信	三五三
8	交通	三五九
(1)	鉄道	三五九
(2)	人力車	三六〇
(3)	自転車	三六一
(4)	馬鉄	三六一
(5)	川上軌道	三六三
(6)	川上電車	三六三
(7)	自動車	三六四
9	明治末ごろの大和町風景	三六五
(1)	明治三十年代ごろの時代相	三六五
(2)	乗合馬車	三六六
10	当時の物価	三六八
二	大正時代	三六九
概説		三六九
1	主な事件	三七〇
(1)	米騒動	三七〇
(2)	銀行の休業	三七〇
2	大衆文化	三七一
三	昭和前期	三七三
概説		三七三

1	満洲事変	三七三
2	日華事変	三七三
3	太平洋戦争	三七四
(1)	戦時体制	三七五
①	学徒動員	三七六
②	女子挺身隊	三七七
③	疎開始まる	三七七
④	春日山道場	三七七
(2)	戦時下の国民生活	三七九
①	物資不足	三六〇
(3)	終戦への道	三六二
4	交通	三六三
(1)	佐賀線の開通	三六三
(2)	貫通道路の完成	三六三
現代		
概観		三六五
①	終戦当時の生活	三六七
②	電化ブームと技術革新等	三六八
③	天皇陛下大和町御通過	三六九
④	経済成長とそのひずみ	三六〇
一	政治	三六三
1	大和町役場	三六〇

1	行政機構	三九二
(1)	行政区	三九三
(2)	区長	三五五
(3)	歴代町長	三五六
(4)	歴代助役	三五六
(5)	歴代収入役	三五六
(6)	歴代収入役	三五六
2	大和町議会	三九六
(1)	歴代議長	三九六
(2)	歴代副議長	三九六
3	選挙	三九九
(1)	大和町選挙管理委員会	四〇〇
(2)	大和町明るい選挙推進協議会	四〇〇
4	財政	四〇二
(1)	監査委員	四〇三
(2)	歴代監査委員	四〇三
5	農業委員会	四〇四
(1)	歴代農業委員長	四〇五
二	教育と文化	四〇六
概説		四〇六
1	教育委員会	四〇五
(1)	教育行政の変遷	四〇五
(2)	大和町教育委員会事務局の組織	四〇六
(3)	歴代教育委員長・歴代教育長	四〇七
2	学校教育	四〇八
(1)	学校の沿革	四〇八
(1)	春日小学校	四〇八
(2)	川上小学校	四〇〇
(3)	松梅小学校	四〇三
(4)	大和中学校	四〇四
(5)	松梅中学校	四〇六
(6)	佐賀県立佐賀農芸高等学校	四〇六
(7)	佐賀県立大和養護学校	四〇〇
(2)	幼稚園教育	四〇〇
(1)	川上幼稚園	四〇〇
(2)	ロザリオ幼稚園	四〇二
(3)	教職員数・児童生徒数・学級数	四〇三
3	社会教育	四〇三
(1)	社会教育の現況	四〇三
(1)	各種社会教育団体の育成	四〇三
(2)	青少年教育の推進	四〇三
(3)	新生活運動の推進	四〇四
(4)	社会同和教育の推進	四〇五
(5)	文化財の保護	四〇五
(2)	社会教育施設	四〇五
(1)	中央公民館	四〇五
(2)	県立青年の家	四〇七

(3)	社会教育関係団体等	四〇六
(1)	青年団	四〇六
(2)	婦人会	四〇六
(3)	青少年問題協議会	四〇六
(4)	子供クラブ連絡協議会	四〇六
(5)	体育協会	四〇六
(6)	P T A	四〇六
4	文化	四〇六
(1)	町内美術展覧会	四〇六
(2)	青年団コーラス部	四〇六
(3)	大和町短歌会	四〇六
(4)	大和中学校ブラスバンド部	四〇六
三	社会福祉	四〇六
概説		四〇六
1	社会福祉施設	四〇六
(1)	佐賀県立春日園	四〇六
(2)	佐賀県立佐賀コロニー	四〇七
(3)	ロザリオの園	四〇九
(4)	いとし子の家	四〇九
(5)	保育園	四〇九
(6)	① 川上保育園 ② 春日保育園	四〇九
(6)	松梅児童館	四〇九
2	福祉関係団体	四〇九
(1)	大和町民生委員協議会	四〇九
(2)	大和町社会福祉委員会	四〇九
(3)	大和町社会福祉協議会	四〇九
	○大和町心配事相談所	四〇九
(4)	大和町遺族会	四〇九
(5)	大和町老人クラブ連合会	四〇九
(6)	大和町母子連盟	四〇九
(7)	大和町傷痍軍人会	四〇九
(8)	大和町身体障害者協議会	四〇九
(9)	大和町精神薄弱者育成会	四〇九
(10)	家庭奉仕員	四〇九
3	鎌田奨学資金	四〇九
4	民生関係	四〇九
(1)	町内の医療状況	四〇九
(2)	保健衛生	四〇九
(3)	衛生組合	四〇九
(4)	国民健康保険	四〇九
(5)	国民年金	四〇九
(6)	生活保護	四〇九
四	産業と経済	四〇九

概 説

1 農業	四三
(1) 農業戸数	四三
(2) 家人口	四三
(3) 経営規模及び耕地面積	四三
(4) 農業機械	四六
(5) 畜産	四七
(6) 農業生産状況	四七
(7) 農業協同組合	四六
(8) 川上園芸農業協同組合	四九
(9) 春日果実農業協同組合	四〇
(10) 大和町農業後継者クラブ(4Hクラブ)	四〇
2 林業	四〇
(1) 大和町森林組合	四一
(2) 佐賀県林業試験場	四一
(3) 佐賀営林署春日担当区事務所	四一
3 商工業	四一
(1) 大和町商工会	四一
(2) 佐賀信用金庫尼寺支店	四三
(3) 町内における主な工場等	四三
① グリコ佐賀工場	四三
② 日興食品工場	四四
③ 県酒造研究所	四四
④ 安全電気佐賀工場	四四
⑤ 九州電力川上川第五発電所	四五
4 その他	四五
(1) 川上川漁業協同組合	四五
5 交通と通信	四六
1 交通	四六
(1) 道路の現況	四六
(2) 主要町道	四七
(3) 県道及び国道	四七
(4) 国道二六三号線	四八
(5) 国道三三三号線	四九
(6) 町内の主なる橋梁	四九
(7) 車両数の推移	四九
2 通信	四六
(1) 有線放送	四六
(2) 電話	四六
六 治安	四六
1 警察	四六
2 警察官駐在所	四八
(1) 三反田駐在所	四八
(2) 川上駐在所	四八
(3) 中極駐在所	四八
(4) 尼寺駐在所	四八
(5) 久池井駐在所	四九

3 機関及び団体	四六
(1) 人権擁護委員	四六
(2) 保護司	四六
(3) 大和町青少年問題協議会	四七
(4) 大和町防犯協会	四七
(5) 交通対策	四六
4 消防	四六
七 災害と建設	四六
1 昭和二十年の枕崎台風	四六
2 昭和二十四年のジュディス台風	四六
(1) 旧川上村の水害	四六
(2) 旧春日村・松梅村の水害	四六
3 災害美談	四三
4 北山ダムと頭首工	四三
(1) 北山ダム	四六
(2) 川上頭首工	四七
(3) 幹線用水路	四六
5 住宅	四六
(1) 現況	四六
(2) 建設の推移	四六
6 都市計画事業	四二
(1) 都市計画区域	四二
(2) 市街化区域及び市街化調整区域	五二
(3) 市街化区域の用途別地域	五三
※ 都市計画について	五三
(4) 街路	五四
(5) 都市下水道	五五
7 簡易水道	五五
八 観光	五六
1 川上峡観光協会	五七
2 文化財調査委員会	五七
3 県立川上公園	五七
4 その他	五〇
(1) 石井樋公園	五〇
(2) 大友公園	五〇
(3) 展望台	五二
(4) 児童公園	五二
5 川上温泉	五二
6 主な産物・名物	五三
7 釣場その他	五三
文化財	
文化財について	五三
一 史跡(※以外は記述の頁のみ記入)	五四
小限山古墳、男女神社古墳、男女神社西古墳	五四

西野古墳、道善寺古墳、風樂寺古墳、十三塚古墳…………… 五四

船塚、築山古墳、久留間カミ塚弥生史跡…………… 五五

国府跡、印鑰社、甘南備社、河上神社…………… 五五

※石神群…………… 五五

国分寺跡、国分尼寺跡…………… 五六

※国分の館通り…………… 五六

大願寺跡、実相院、健福寺…………… 五六

※春日城跡…………… 五六

※延喜社、最明寺觀世音、於保天満宮、兵動八幡…………… 五六

万寿寺、高城寺、光明寺跡…………… 五七

※尊光寺跡…………… 五七

玉林寺、金敷山、今山古戰場…………… 五六

※黒土原の千人塚…………… 五六

大友八郎親貞主従の墓…………… 五六

※館屋敷…………… 五六

※代官所跡…………… 五九

※三反田代官所跡…………… 五九

大庄屋敷跡 餓死塔…………… 五〇

成富茂安水功の碑、石井樋…………… 五二

成富茂安とその妻子の墓、通天庵と深江信溪の墓…………… 五三

永明寺跡、華藏庵跡と湛然和尚の墓…………… 五三

石田一鼎隠棲の地とその墓、山本常朝隠棲の地…………… 五三

横尾紫洋の墓、今泉蟹守夫妻の墓…………… 五三

※敷山神社跡…………… 五三

永山貞武の墓…………… 五三

※大砲演習所跡…………… 五三

大木喬任の山家敷跡、今山焼かま跡、製紙碑…………… 五三

御墓所…………… 五三

※御手洗水の滝…………… 五三

※鉄砲川原…………… 五三

※河上神社の楠の枯株…………… 五三

※野口の三仏…………… 五三

※乙文珠宮、宝塔山…………… 五三

※男女女神社…………… 五三

※梅野神社…………… 五三

※覚正寺…………… 五三

※江熊野と三階建…………… 五三

※松田茂久の墓と神変社…………… 五三

※常立寺…………… 五三

※鎌田景弼顕彰の碑…………… 五三

※野口の大願寺…………… 五〇

二 石塔婆類…………… 五二

1 四天社…………… 五三

2 玉林寺の多聞天…………… 五三

3 狛犬…………… 五三

4 地藏…………… 五三

(1) 六地藏…………… 五三

(2) 勝軍地藏…………… 五三

5 觀世音…………… 五三

(1) 馬頭觀世音…………… 五三

(2) 五輪塔婆…………… 五三

(1) 鎌倉さん…………… 五三

(2) その他…………… 五三

7 蚕神さん…………… 五三

8 松垣塔…………… 五三

9 金精さま…………… 五三

10 弁財天…………… 五三

11 荒神…………… 五三

12 文殊菩薩と普賢菩薩騎象像…………… 五三

13 大日如来と天照大神…………… 五三

14 恵比須・大黒天…………… 五三

15 塔類…………… 五〇

(1) 庚申塔…………… 五一

(2) 遺髪塔…………… 五三

(3) 宝篋印塔…………… 五三

(4) 無縫塔…………… 五三

(5) 如法塔…………… 五三

(6) 月待供養塔…………… 五三

三 木像と金像…………… 五三

1 高城寺地藏尊…………… 五三

2 水上懸仏…………… 五三

3 玉林寺十六羅漢…………… 五三

4 実相院女神像…………… 五三

5 実相院十一面觀世音…………… 五三

6 実相院僧形の座像…………… 五三

四 古絵図・古文書等…………… 五三

1 大和町関係の古絵図…………… 五三

2 揚心流捕手目録…………… 五三

3 山伏棒術免状…………… 五三

4 真乱流兵法序…………… 五三

5 その他…………… 五三

6 古文書…………… 五三

(1) 河上神社・実相院・高城寺古文書…………… 五三

(2) 国分忠俊書状…………… 五三

(3) 三百年続く祭りの記録…………… 五三

五 法物…………… 五三

3	葬祭	三三	(1) 彦山まいり	(2) 三夜待	四九
1	年中行事	六六	(3) 六夜待	(4) お日待	四九
2	二年始	六六	(5) 彼岸ごもりと遍路		四〇
3	二日商いと鍬入れ	六九	(6) おとう夜	(7) 観音講	四一
4	初入り	六〇	(8) もし講		四一
5	七福神	六三	(9) 風祭り	(10) 大般若	四三
6	荒神餅	六三	(11) 百万遍		四三
7	二十日正月	六三	(12) その他		四三
8	針供養	六三	三 伝説・民話		
9	粉搗き十五日	六四	1 川上たけると真手		四七
10	灌仏会	六五	2 お不動さんと竜王池		四七
11	端午の節句	六五	3 孝行鮎		四八
12	菖蒲湯	六五	4 雨乞いの竜		四八
13	さかもり	六六	5 淀姫さんとなまず		四八
14	七夕祭り	六六	6 宝塔山・書きかけの題目		四八
15	灯つけ	六七	7 宝探し物語		四八
16	祇園	六七	8 六地藏さん		四八
17	おくんち	六七	9 高城寺伝説		四八
18	秋祭り	六八	10 乙文珠宮とたもと石		四八
19	歳末・家児揃い	六八	11 円山と鎧岩		四九
20	餅搗き	六八	12 母恋雨蛙		四九
21	荒神さんずもう	六八			四九
22	餅搗き	六八			四九
23	餅搗き	六八			四九
24	餅搗き	六八			四九
25	餅搗き	六八			四九
26	餅搗き	六八			四九
27	餅搗き	六八			四九
28	餅搗き	六八			四九
29	餅搗き	六八			四九

1	普賢延命菩薩騎象像	五二	7 上戸田・下戸田	8 都渡城	六三
2	金銅細工の法具箱と誂僧箱	五二	9 出羽	10 於保	六三
3	大般若経 六百卷	五三	11 屋形所	12 折敷野	六三
4	蓮の曼陀羅	五三	13 大願寺		六三
5	一字一蓮の法華経	五四	14 今山・横馬場	15 山王	六四
6	如意	五四	16 国分・尼寺	17 大和町	六四
1	明神鳥居	五五	民俗		
2	肥前鳥居	五五	ふるさとの心		
1	仁王と仁王門	六〇	一 結婚と葬祭		
2	淀姫神社西の門	六〇	1 婚姻から出産まで		六六
1	官人橋	六三	(1) 媒酌人と結婚の成立		六六
2	名護屋橋	六三	(2) 結納	(3) 嫁入り	六七
1	慶闇尼と握り飯	六七	(4) 中宿	(5) 火ふすべ	六七
3	眼鏡橋	六八	(6) 提灯取替え・釜かぶせ		六八
4	渡瀬橋	六八	(7) 祝言の盃	(8) 披露宴	六九
1	地名の由来	六九	(9) 婿入り	(10) 初行	六九
2	久池井	六九	(11) 着帯祝	(12) 頼み茶講	七〇
3	城崎	七〇	(13) 出産	(14) 名付け茶講	七〇
4	鐘尼	七〇	(15) 日晴れ茶講	(16) その他	七〇
5	川上	七〇	(1) 初老祝	(2) 還暦祝	七三
6	惣座	七〇			七三

13	おば捨て山	七五
14	お釈迦さまのお見舞い	七三
四 民謡・童唄その他		
	○ 高い山から ○ あの山に	七三
	○ 都渡城とうばし ○ 長持唄	七四
	○ 子守唄	七五
	○ お手玉のうた	七六
	○ 羽根つきうた	七六
	○ 手合わせうた	七六
	○ まりつきうた ○ 指遊びのうた	七六
	○ 子どものあやしうた	七六
	○ 縄とびうた ○ 遊びごっこうた	七六
	○ その他	七六
	○ 石棒つき唄	七六
五 俚 諺		
1	天候に関するもの	七六
2	雑の部	七六
3	いろはがるた	七六
4	迷信その他	七六
六 子供の遊び		
1	ねん棒	七六
2	ペチャ	七五
3	こま	七六
4	うつつめ	七六
5	網わな	七六
6	鉄砲類	七六
7	竹とんぼ	七六
8	のんま	七六
9	けんま	七六
10	石どり	七六
11	瓦あて	七六
12	おはじき陣取り	七六
13	とんばた	七六
14	月取り	七六
15	うず巻遊び	七六
16	つばめおこし	七六
17	こつくりさん	七六
18	魚捕り	七六
19	せみ・とんぼとり	七六
20	その他	七六
七 生活さまざま		
1	農村点描	七六
(1)	株切り	七六
(2)	くれ打ち	七六
(3)	麦踏み	七六
(4)	麦打ち	七六
(5)	麦わら細工	七六
(6)	菜種刈りと虫狩り	七六
(7)	田植え	七六
(8)	水かけ	七六
(9)	田の草取り	七六
(10)	あぜ豆	七六
(11)	田虫捕り	七六
(12)	稲こずみ	七六
(13)	稲こぎと籾すり	七六
(14)	茶摘みと茶作り	七六

(15)	魚捕りと川上の鮎やな	七五
(16)	名尾紙すき	七五
(17)	干柿作り	七五
(18)	養 蚕	七五
(19)	機織り	七五
(20)	村芝居	七五
(21)	川上の納涼	七五
2 服 装		
(1)	服装の歴史	七五
(2)	髪 形	七五
(3)	衣 服	七五
(4)	帯	七五
(5)	はき物	七五
(6)	仕事着	七五
3 民 家		
4	食生活	七五
(1)	主 食	七五
(2)	副食物	七五
(3)	祝祭時の食物	七五
(4)	毎日の食事と弁当	七五
(5)	食事の場所	七五
(6)	子供のおやつ	七五
5	風 呂 (共同風呂・塩風呂)	七五
6	青年宿	七五
7	消防団	七五
8	公 役	七五
9	寄り合い	七五
10	お茶講	七五
11	入れ薬屋さん	七五
12	に わ	七五
13 信 仰		
(1)	部落における信仰	七五
(2)	荒神琵琶	七五
(3)	その他	七五
(4)	家庭における信仰	七五
(5)	崇り・まじない	七五
①	かまん神さんと荒神と庚申	七五
②	お稲荷さん	七五
③	夷・大黒さん	七五
14 民間医療		
15	食い合わせ	七五
16	薄れ行く方言	七五
八 民俗芸能		
1	浮 立	七五
(1)	平野の浮立	七五
①	実施期間	七五
②	起 源	七五
③	浮立の構成	七五
④	服装と用具	七五

# 大和町の概要



川上峡

⑤ 浮立の実際	.....	八三
(2) 池上の浮立	.....	八五
(3) 大願寺の浮立	.....	八六
<b>神社・寺院</b>		
一 町内神社一覧表	.....	八三
二 町内の神社について	.....	八四
1 天神さん	.....	八四
2 権現さん	.....	八五
3 乙護社	.....	八六
4 八龍神社	.....	八七
5 山王さん	.....	八七
6 貴船神社	.....	八八
7 諏訪神社	.....	八八
8 三十番神社	.....	八九
9 地主神	.....	八九
10 八坂神社	.....	九〇
11 八幡社	.....	九〇
三 町内寺院一覧表	.....	九〇
年表	.....	九四
編集後記	.....	九四